

高知県消防広域化推進検討委員会

第2回資料

1 消防の体制

◇ 消防本部・消防署の業務等について	1
◇ 「消防力の整備指針」の概要	2
◇ 消防車両及び消防職員数の「整備指針」との比較	3
◇ 全国の類似消防本部（管轄人口・面積）の状況	4
◇ 各消防本部における兼任状況	5
◇ 消防力の整備指針の内訳（H18「消防施設整備計画実態調査」）	6

2 消防需要

◇ 消防機関＜常備＞の出動状況の推移	9
◇ 火災出動件数＜常備＞の推移	10
◇ 救助出動件数の推移	11
◇ 救急出動件数の推移	12
◇ 救急車の現場到着所要時間の推移	13
◇ 救急搬送の管外搬送率の推移	14
◇ 市町村消防費の推移（決算額）	15
◇ 市町村決算額に占める消防費決算額の割合（17年度）	16
◇ 住民一人当たり、吏員一人当たり消防費	17
◇ 本県消防本部の住民一人当たり消防費	18

3 現状の整理

◇ 現状の整理	19
---------	----

<参考> 各消防本部の体制（H19.4.1）

- ◇ 消防機関管内図
- ◇ 15 消防本部の体制

消防本部・消防署の業務等について

1 消防機関の役割分担

(1) 消防本部

市町村の消防事務を統括する機関であり、通常、主として人事、予算、庶務等の消防組織そのものを維持するために必要な事務や、消防の運営の企画、統制等の事務を行う。

(2) 消防署

火災・救急・救助等の活動を、第一線に立って行う。

(3) 消防団

特別職の公務員（非常勤）であり、普段は自分の本業をしながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、災害の発生時等に防火防災活動に従事する。

2 消防本部の主な業務（市町村等によっては、消防署でも分担している。）

(1) 総務

消防に関する企画・運営、職員の人事、給与及び福利厚生、予算の経理等。

(2) 警防

消防活動のための必要な車両や資機材の整備、消防水利（消火栓等）の指導等。

(3) 予防

デパート・学校等の消防設備やガソリンスタンド等の危険物施設の設置指導及び検査等。

(4) 通信

119番通報を受け、出動指令及び現場活動への必要な情報を伝えること等。

3 消防署の体制

(1) 配備体制

火災・救急・救助等の業務を365日24時間体制で実施している。

消防車・救急車・救助工作車等が配備され、活動に必要な人員が配置される。

○消防力の整備指針

市町村が火災の予防等消防の事務を確実に遂行し、消防の責任を十分に果たすため、市町村はこの指針に定める施設及び人員を目標として、整備するものとされている。

◇署所・車両の配置・・・人口規模等に応じて設置する署所や車両台数等を定め、地域の諸事情を勘案し算定。

◇車両への人員配置（1台につき）・・・消防車5人、救急車3人、救助工作車5人 等

(2) 勤務体制

すべての消防本部において2部制をとっている。（一部の消防本部においては、3部制又は4部制を併用している。）

2部制では、職員を2つの組に分け、1日おきの24時間交代（16時間労働）で勤務を行っている。

《2部制の勤務例》

8:30	12:00	13:00	18:30	19:00	0:15	6:45	8:30
勤務 3:30	休憩 1:00	勤務 5:30	休憩 0:30	勤務 5:15	休憩(仮眠) 6:30	勤務 1:45	

「消防力の整備指針」の概要

○市町村が、区域における消防の責任を十分に果たすために必要な施設及び人員について定める基準であり、努力目標とされるものである。

○この基準の考え方は、火災を主として考えられており、署所・必要車両の配置について、「延焼を防ぐ」ことを第一に、各地域を次の3つに区分し、配置を行っていくこととされている。

- (1) 市街地・・・大きな道路や川などで区切られた区画で、その区域内の建物の面積が10%を超える密集した地域（人口1万人以上）
- (2) 準市街地・・・上記と同様の地域で、人口が1千人以上1万人未満のもの
- (3) その他の地域・・・(1) (2) 以外の地域

○署所の配置は、上記3区分のうち、延焼の可能性が高い「市街地」に配置することとされる。

「準市街地」及び「その他の地域」においては「地域の実情に応じて配置することができる」とされている。

車両の配置は、「市街地」及び「準市街地」ごとに、地域の人口に応じて配置される数が決められている。

人員については、車両を基に算定され、消防車両では4人又は5人（5人が基本）、救急車では3人を基本として算定する。こうした現場要員のほか、通信員、予防要員について、基準に応じ人員を算定し、消防本部などの庶務を行う人員を加えることとなる。

主な内容は下記のとおり。

<例：市街地>

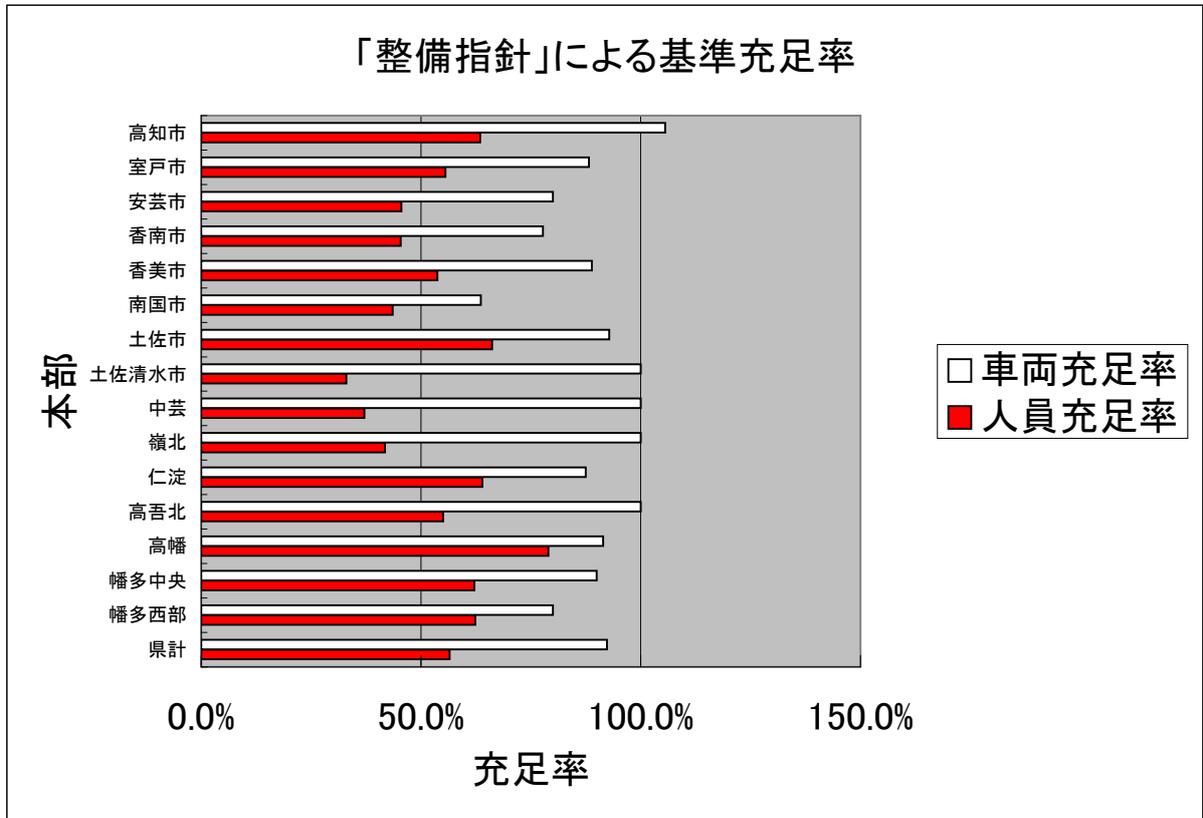
	署所	ポンプ車	救急車	人員	備考
人口1万人	1	2	1	ポンプ車×5 救急車×3	その他、予防要員、通信員などを基準に基づき加える。 また、本部人員を加える。
人口3万人	1	3	1		
人口5万人	2	4	2		
人口30万人	9	14	8		このように段階的に基準が決められている。 車両については、この他にはしご車や化学車などの基準がある。

○大まかな説明であるが、以上により、必要な消防力が算定される。消防力はこのように、「延焼の危険性」の大きい「市街地」を基準に考えられている。

消防車両数及び消防職員数の「整備指針」との比較

	管轄人口 (人)	管轄面積 (km ²)	消防車両			消防職員		
			指針による 基準台数	現有台数	充足率	指針による 基準人員	現有人員	充足率
高知市	333,484	264.28	54	57	105.6%	545	346	63.5%
室戸市	20,876	322.34	17	15	88.2%	90	50	55.6%
安芸市	24,556	356.97	10	8	80.0%	79	36	45.6%
香南市	33,541	126.76	9	7	77.8%	97	44	45.4%
香美市	30,257	537.95	9	8	88.9%	108	58	53.7%
南国市	50,758	125.35	11	7	63.6%	140	61	43.6%
土佐市	30,011	91.59	14	13	92.9%	68	45	66.2%
土佐清水市	17,281	266.52	8	8	100.0%	103	34	33.0%
中芸	12,908	449.61	9	9	100.0%	97	36	37.1%
嶺北	15,036	756.54	8	8	100.0%	98	41	41.8%
仁淀	48,469	560.53	16	14	87.5%	111	71	64.0%
高吾北	28,746	545.75	12	12	100.0%	89	49	55.1%
高幡	66,373	1,405.44	35	32	91.4%	157	124	79.0%
幡多中央	51,354	820.88	20	18	90.0%	119	74	62.2%
幡多西部	32,642	474.50	15	12	80.0%	85	53	62.4%
県計	796,292	7,105.01	247	228	92.3%	1986	1122	56.5%

<参考> H15年度調査全国平均 75.5%



○消防車両の充足率については、ほぼ充足されているが、職員数は、約57%と全国平均からみても低い数字となっている。
 →現状では、消防・救急・救助の各業務の兼任や非番招集による対応が見られる。

全国の類似消防本部(管轄人口・面積)の状況

モデル	類似消防本部	H17.4.1現在		H12国勢調査			H16年中						
		署所数	消防職員	管轄人口	管轄面積	人口密度	火災件数	救急出動件数	人口/職員	面積/職員	火災/職員	救急/職員	救急/1万人
高知市	(30万人規模)	3署6所	339	333,621	264.28	1,262.4	168	13,699	984.1	410.62	0.50	40.41	411
	前橋市消防本部(群馬)	5署5所	393	341,738	311.64	1,096.6	204	12,058	869.6	352.84	0.52	30.68	353
	豊橋市消防本部(愛知)	3署6所	327	364,868	261.35	1,396.1	203	13,241	1,115.8	362.90	0.62	40.49	363
幡多中央	(5万人規模)	2署1所	74	52,992	820.88	64.6	40	1,953	716.1	368.55	0.54	26.39	369
	糸魚川市消防本部(新潟)	1署3所	93	53,021	746.24	71.1	17	1,919	570.1	361.93	0.18	20.63	362
	揖斐郡消防組合消防本部(岐阜)	1署3所	78	50,525	837.86	60.3	23	1,395	647.8	276.10	0.29	17.88	276
嶺北	(1万5千人規模)	1署1所	42	17,398	965.24	18.0	15	969	414.2	556.96	0.36	23.07	557
	吉野広域行政組合消防本部(奈良)	1署1所	65	18,992	903.99	21.0	19	1,004	292.2	528.64	0.29	15.45	529
	阿賀町消防本部(新潟)	1署3所	54	15,813	952.88	16.6	13	827	292.8	522.99	0.24	15.31	523
<参考>	(80万人規模)	19署23所	1116	813,949	7105.01	114.6	503	34,194	729.3	420.10	0.45	30.64	420
県全体	新潟市消防局(新潟)	8署27所	886	798,927	689.98	1,157.9	167	25,624	901.7	320.73	0.19	28.92	321
	浜松市消防本部(静岡)	7署19所	883	786,306	1511.17	520.3	338	27,603	890.5	351.05	0.38	31.26	351

<参考> 上記モデル消防本部の「整備指針」充足率状況(H18消防施設整備計画実態調査)

		車両			人員		
		基準台数	現有台数	充足率	基準人員	現有人員	充足率
高知市	(30万人規模)	54	57	105.6%	545	346	63.5%
	前橋市消防本部(群馬)	57	57	100.0%	557	397	71.3%
	豊橋市消防本部(愛知)	42	37	88.1%	492	326	66.3%
幡多中央	(5万人規模)	20	18	90.0%	119	74	62.2%
	糸魚川市消防本部(新潟)	13	13	100.0%	150	93	62.0%
	揖斐郡消防組合消防本部(岐阜)	18	15	83.3%	164	78	47.6%
嶺北	(1万5千人規模)	8	8	100.0%	98	41	41.8%
	吉野広域行政組合消防本部(奈良)	10	12	120.0%	95	62	65.3%
	阿賀町消防本部(新潟)	10	9	90.0%	90	53	58.9%
<参考>	(80万人規模)	247	233	94.3%	1986	1122	56.5%
県全体	新潟市消防局(新潟)	150	142	94.7%	1170	905	77.4%
	浜松市消防本部(静岡)	115	106	92.2%	1107	891	80.5%

○高知県の消防本部は県外の同規模の消防本部と比べると、職員1人あたりや人口1万人あたりの救急出動件数が多くなっている。
→管轄人口の規模が小さくなるにつれて、職員一人あたりの負担が、大きくなっている。

各消防本部における兼任の状況

H17国勢調査

H19.4.1現在速報値

	管轄人口 (人)	管轄面積 (km ²)	消 防 職 員			本部と署所の 兼任数 (人)	消防・救助・救急隊員(署所配置職員)			
			総数(人)	本部職員数 (人)	署所職員数 (人)		総数 <A> (人)	専任 (人)	兼任 (人)	B/A
高知市	333,484	264.28	339	89	250	0	224	108	116	51.8%
室戸市	20,876	322.34	50	6	44	26	43	12	31	72.1%
安芸市	24,556	356.97	37	11	26	3	23	0	23	100.0%
香南市	33,541	126.76	44	11	33	3	32	0	32	100.0%
香美市	30,257	537.95	57	10	47	2	46	0	46	100.0%
南国市	50,758	125.35	60	9	51	10	47	35	12	25.5%
土佐市	30,011	91.59	45	6	39	32	37	0	37	100.0%
土佐清水市	17,281	266.52	35	6	29	2	27	0	27	100.0%
中芸	12,908	449.61	38	9	29	4	27	0	27	100.0%
嶺北	15,036	756.54	41	6	35	8	32	0	32	100.0%
仁淀	48,469	560.53	71	11	60	2	54	2	52	96.3%
高吾北	28,746	545.75	49	5	44	4	41	6	35	85.4%
高幡	66,373	1,405.44	123	7	116	0	101	9	92	91.1%
幡多中央	51,354	820.88	75	4	71	2	61	1	60	98.4%
幡多西部	32,642	474.50	54	8	46	5	43	0	43	100.0%
県計	796,292	7,105.01	1,118	198	920	103	838	173	665	79.4%

各消防本部間の単純平均 88.0%

○すべての消防本部で兼任が見られ、8消防本部では各隊員すべてが消防・救助・救急のすべてを兼任している状況となっている。
→ 高知市及び南国市では、専任の隊を組織している署所もみられる。

消防力の整備指針の内訳(H18「消防施設整備計画実態調査」)

本部名 (人口「H17国勢調査」)		総務	予防	通信	警防							合計	
					指揮車	ポンプ車	はしご車	化学車	特殊車	救助工作車	救急車		
県計 (796,292人)	基準数	176	131	42	台 27	57	13	12	71	20	47	247	
	現有数	176	53	41	人 226	716	73	40	42	252	288	1,986	
	不足数	0	78	1	台 23	63	4	1	71	18	48	228	
					人 4	-6	9	11	0	2	-1	19	
					852							1,122	
					785							864	
30万人規模	高知市 (333,484人)	基準数	74	62	16	台 3	15	3	2	19	3	9	54
		現有数	74	21	20	人 40	223	42			52	36	545
		不足数	0	41	-4	台 1	21	3	1	19	2	10	57
						人 2	-6	0	1	0	1	-1	-3
					231							346	
					162							199	
5万人規模	高幡 (66,373人)	基準数	7	7	2	台 6	5	2	1	13	2	6	35
		現有数	7	4	6	人 42	42				30	27	157
		不足数	0	3	-4	台 6	4			13	3	6	32
						人 0	1	2	1	0	-1	0	3
						107							124
						34							33
	幡多中央 (51,354人)	基準数	12	8	3	台 2	3	1	1	8	2	3	20
		現有数	12	4	3	人 6	36	12	12		12	18	119
		不足数	0	4	0	台 2	3	1		8	1	3	18
						人 0	0	0	1	0	1	0	2
						55							74
						41							45
南国市 (50,758人)	基準数	5	7	5	台 2	3	1	1		1	3	11	
	現有数	5	2	2	人 18	36	15	12		15	27	140	
	不足数	0	5	3	台 0	4				1	2	7	
					人 2	-1	1	1	0	0	1	4	
					52							61	
					71							79	
仁淀 (48,469人)	基準数	8	5	2	台 1	5	1	1	3	1	4	16	
	現有数	8	3	0	人 9	63				15	9	111	
	不足数	0	2	2	台 1	5			3	1	4	14	
					人 0	0	1	1	0	0	0	2	
					60							71	
					36							40	

現有数(H18.4.1現在)

指令センターに
配置する人員

消防力の整備指針の内訳(H18「消防施設整備計画実態調査」)

本部名 (人口「H17国勢調査」)		現有数(H18.4.1現在)	総務	予防	通信	指令センターに 配置する人員	警防							合計
							指揮車	ポンプ車	はしご車	化学車	特殊車	救助工作車	救急車	
3万人規模	香南市 (33,541人)	基準数	13	4	2	台	1	2	1	1	1	1	2	9
		台人	9						9	15	18		97	
		現有数	13	2	2	台	1	2			1	2	7	
		台人	27							44				
	不足数	0	2	0	台	0	0	1	1	0	0	0	2	
	台人	51							53					
	幡多西部 (32,642人)	基準数	3	5	3	台	3	2	1	2	3	1	3	15
		台人	12						4	16		8	18	85
		現有数	3	1	3	台	3	2			3	1	3	12
		台人	46							53				
	不足数	0	4	0	台	0	0	1	2	0	0	0	3	
	台人	28							32					
	香美市 (30,257人)	基準数	9	7	2	台	1	3	1		1	1	2	9
		台人	9								9	15	18	108
		現有数	9	4	1	台	1	3			1	1	2	8
		台人	44							58				
	不足数	0	3	1	台	0	0	1	0	0	0	0	1	
	台人	46							50					
	土佐市 (30,011人)	基準数	9	5	3	台	1	2		2	6	1	2	14
		台人	9									15	0	68
現有数		9	2	2	台	1	2			6	1	3	13	
台人		32							45					
不足数	0	3	1	台	0	0	0	2	0	0	-1	1		
台人	19							23						
高吾北 (28,746人)	基準数	6	5	0	台	1	3			5	1	2	12	
	台人	9								18	15	18	89	
	現有数	6	2	0	台	1	3			5	1	2	12	
	台人	41							49					
不足数	0	3	0	台	0	0	0	0	0	0	0	0		
台人	37							40						

消防力の整備指針の内訳(H18「消防施設整備計画実態調査」)

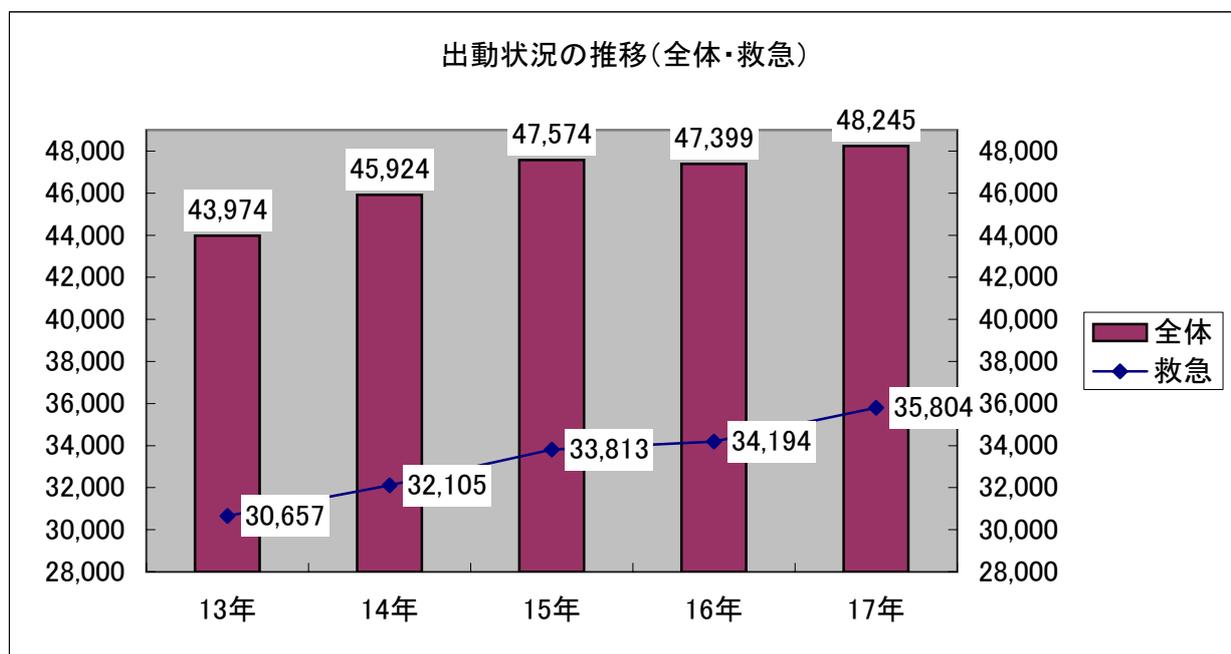
本部名 (人口「H17国勢調査」)	現有数(H18.4.1現在)	総務	予防	通信	指令センターに 配置する人員							警防	合計	
					指揮車	ポンプ車	はしご車	化学車	特殊車	救助工作車	救急車			
														台
2万5千人 規模以下	安芸市 (24,556人)	基準数	6	4	0	1	2	1			3	1	2	10
		人	9	27				15	18	79				
		現有数	6	2	0	1	2			3		2	8	36
		人	28							36				
		不足数	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	2	43
		人	41							43				
	室戸市 (20,876人)	基準数	6	4	2	1	4	1	1	5	2	3	17	
		人	9	42					0	27	90			
		現有数	6	2	1	1	4			5	2	3	15	50
		人	41							50				
		不足数	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	2	40
		人	37							40				
	土佐清水市 (17,281人)	基準数	5	2	0	1	3			1	1	2	8	
		人	18	45						15	18	103		
		現有数	5	2	0	1	3			1	1	2	8	34
		人	27							34				
		不足数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69
		人	69							69				
	嶺北 (15,036人)	基準数	7	2	2	1	3			1	1	2	8	
		人	9	45						15	18	98		
		現有数	7	0	1	1	3			1	1	2	8	41
		人	33							41				
		不足数	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	57
		人	54							57				
中芸 (12,908人)	基準数	6	4	0	2	2			2	1	2	9		
	人	18	30						6	15	18	97		
	現有数	6	2	0	2	2			2	1	2	9	36	
	人	28							36					
	不足数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	
	人	59							61					

消防機関<常備>の出動状況の推移

単位:件

	13年	14年	15年	16年	17年	対13年度比	平均	人口1万人当たりの平均出動回数
高知市	17,597	18,593	18,948	19,195	19,403	110.3%	18,747	562
室戸市	1,256	1,420	1,283	1,276	1,382	110.0%	1,323	634
安芸市	1,336	1,285	1,438	1,434	1,568	117.4%	1,412	575
香南市	1,730	1,774	1,974	2,009	1,951	112.8%	1,888	563
香美市	2,148	1,879	1,944	2,066	2,188	101.9%	2,045	676
南国市	2,288	2,467	2,633	2,528	2,523	110.3%	2,488	490
土佐市	1,886	1,731	1,909	1,913	2,000	106.0%	1,888	629
土佐清水市	1,062	1,017	1,042	1,123	1,032	97.2%	1,055	611
中芸	902	951	1,109	1,012	1,060	117.5%	1,007	780
嶺北	1,153	1,052	1,272	1,128	1,065	92.4%	1,134	754
仁淀	3,248	3,705	3,372	3,461	3,475	107.0%	3,452	712
高吾北	1,565	1,626	1,746	1,934	2,057	131.4%	1,786	621
高幡	3,520	3,579	4,045	3,734	3,893	110.6%	3,754	566
幡多中央	2,501	2,677	2,638	2,675	2,670	106.8%	2,632	513
幡多西部	1,782	2,168	2,221	1,911	1,978	111.0%	2,012	616
合計	43,974	45,924	47,574	47,399	48,245	109.7%	46,623	586

本部間平均 620



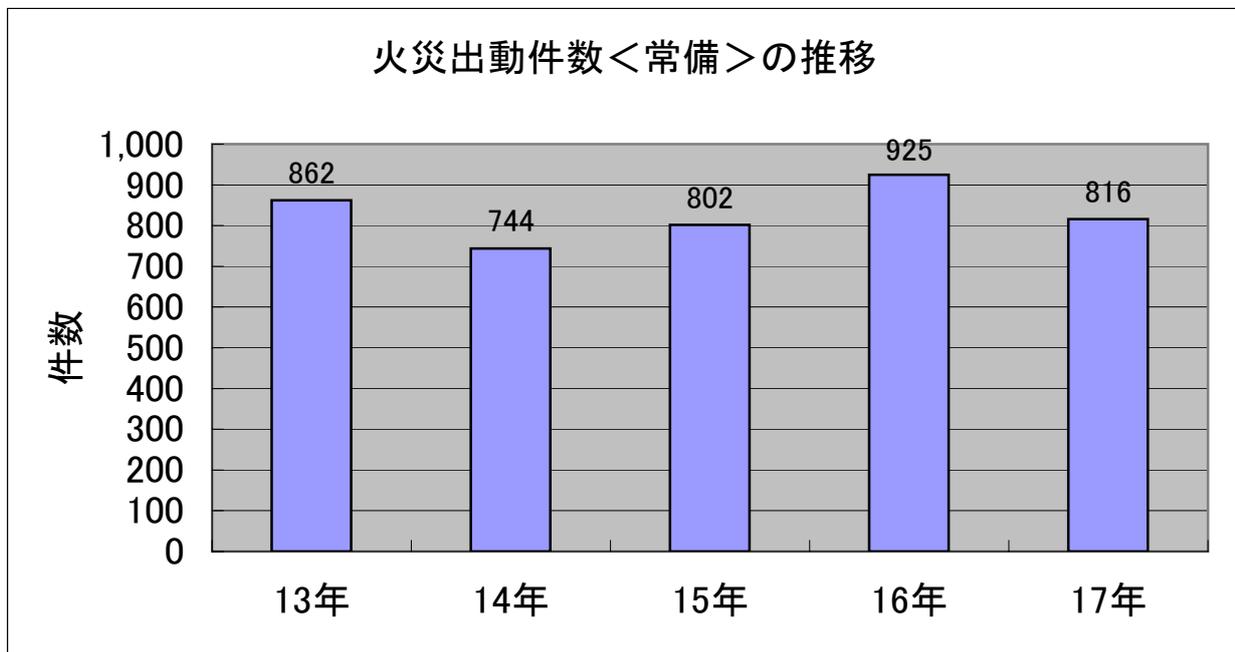
○出動件数は年々増加しており、なかでも救急出動の占める割合は高い。
→救急出動の増加数は、全出動件数の増加数より大きくなっている。

火災出動件数<常備>の推移

単位:件

	13年	14年	15年	16年	17年	対13年度比	平均	人口1万人当たりの平均出動回数
高知市	589	459	530	596	524	89.0%	540	16
室戸市	9	10	8	26	25	277.8%	16	7
安芸市	15	13	15	14	22	146.7%	16	6
香南市	11	12	11	19	16	145.5%	14	4
香美市	26	15	26	22	14	53.8%	21	7
南国市	23	42	23	27	29	126.1%	29	6
土佐市	14	29	14	23	26	185.7%	21	7
土佐清水市	16	11	16	13	11	68.8%	13	8
中芸	9	10	9	11	18	200.0%	11	9
嶺北	12	15	12	15	7	58.3%	12	8
仁淀	27	32	27	39	29	107.4%	31	6
高吾北	20	13	20	13	12	60.0%	16	5
高幡	36	33	36	56	45	125.0%	41	6
幡多中央	43	40	43	40	25	58.1%	38	7
幡多西部	12	10	12	11	13	108.3%	12	4
合計	862	744	802	925	816	94.7%	830	10

本部間平均 7



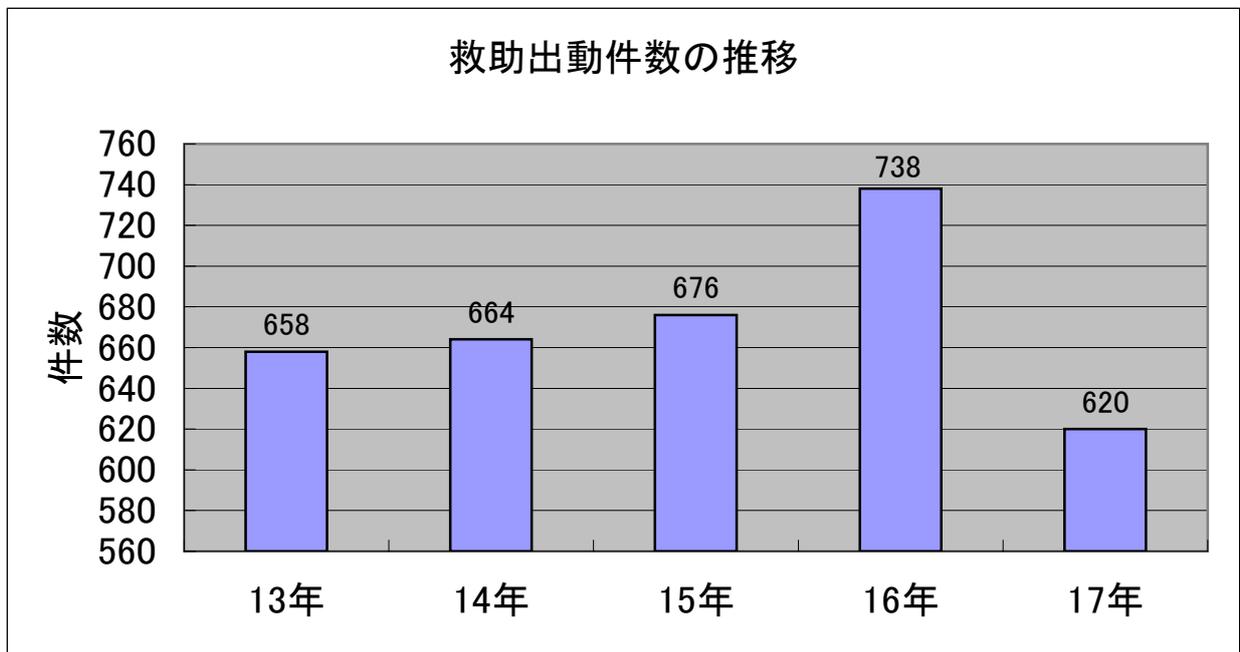
○火災出動件数は、特段の変化は見られないものの、一定の件数はある。

救助出動件数の推移

単位:件

	13年	14年	15年	16年	17年	対13年度比	平均	人口1万人当たりの平均出動回数
高知市	187	164	191	180	174	93.0%	179	5
室戸市	22	21	38	22	37	168.2%	28	13
安芸市	43	21	29	23	42	97.7%	32	13
香南市	27	25	19	22	25	92.6%	24	7
香美市	40	33	31	42	39	97.5%	37	12
南国市	54	70	58	66	55	101.9%	61	12
土佐市	25	37	26	26	25	100.0%	28	9
土佐清水市	32	17	30	32	25	78.1%	27	16
中芸	21	30	24	30	16	76.2%	24	19
嶺北	30	28	25	35	18	60.0%	27	18
仁淀	57	49	14	36	16	28.1%	34	7
高吾北	43	28	19	33	28	65.1%	30	11
高幡	19	66	82	91	69	363.2%	65	10
幡多中央	51	67	72	76	39	76.5%	61	12
幡多西部	7	8	18	24	12	171.4%	14	4
合計	658	664	676	738	620	94.2%	671	8

本部間平均 11



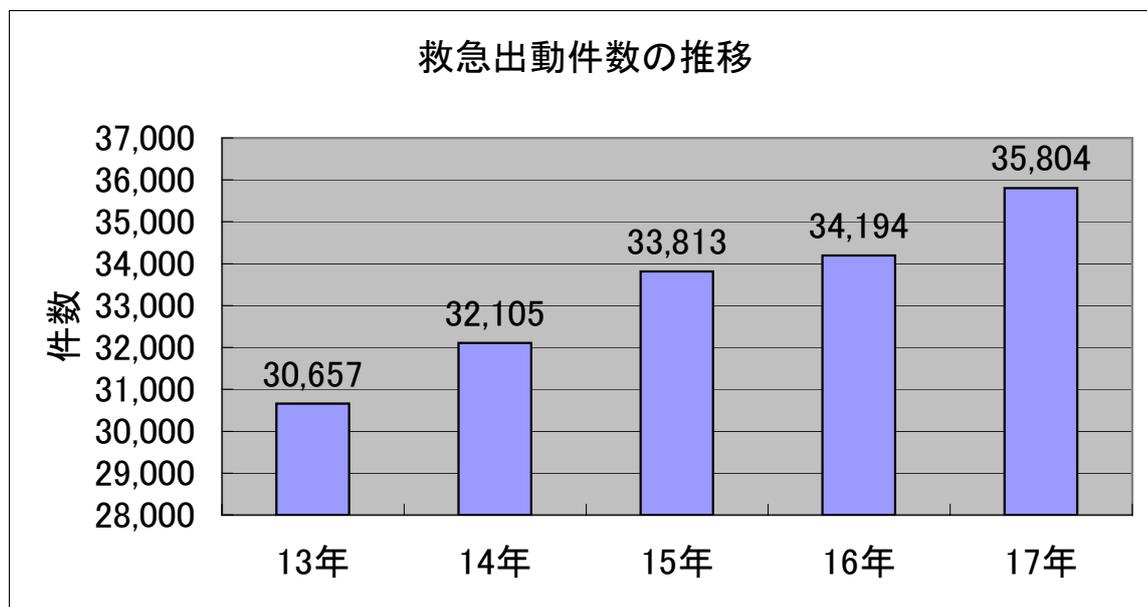
○火災出動件数と同様に、特段の変化見られないものの、一定の件数はある。16年は、風水害(台風等)の影響により件数が上昇している。
→気象状況により変動する場合がある。

救急出動件数の推移

単位:件

	13年	14年	15年	16年	17年	対13年度比	平均	人口1万人当たりの平均出動回数
高知市	12,038	12,752	13,381	13,699	14,213	118.1%	13,217	396
室戸市	1,049	1,051	1,042	1,104	1,093	104.2%	1,068	511
安芸市	1,093	1,103	1,205	1,185	1,346	123.1%	1,186	483
香南市	1,313	1,372	1,543	1,495	1,571	119.6%	1,459	435
香美市	1,534	1,490	1,503	1,530	1,630	106.3%	1,537	508
南国市	1,986	2,081	2,265	2,132	2,293	115.5%	2,151	424
土佐市	1,102	1,152	1,290	1,369	1,409	127.9%	1,264	421
土佐清水市	745	713	722	737	748	100.4%	733	424
中芸	615	643	692	645	641	104.2%	647	501
嶺北	917	843	982	969	964	105.1%	935	622
仁淀	1,868	2,026	2,041	2,178	2,291	122.6%	2,081	429
高吾北	1,118	1,166	1,249	1,248	1,387	124.1%	1,234	429
高幡	2,444	2,527	2,650	2,632	2,796	114.4%	2,610	393
幡多中央	1,625	1,914	1,914	1,953	2,015	124.0%	1,884	367
幡多西部	1,210	1,272	1,334	1,318	1,407	116.3%	1,308	401
合計	30,657	32,105	33,813	34,194	35,804	116.8%	33,315	418

本部間平均 450



○救急出動件数は、年々上昇している。
→すべての消防本部で上昇が見られる。

救急車の現場到着所要時間の推移

単位:分

消防本部名	H13	H14	H15	H16	H17	<参考> H18全国平均	<参考> H17最長到着時間
高知市	5.8	5.6	5.6	5.1	4.8		54.0
室戸市	7.7	7.5	8.1	8.6	8.6		47.0
安芸市	6.4	6.3	6.4	6.5	6.3		81.0
香南市	5.7	5.3	5.3	5.1	5.2		63.0
香美市	6.9	6.9	6.4	6.5	8.6		101.0
南国市	6.8	6.5	6.6	7.3	7.4		40.0
土佐市	6.6	6.3	4.7	4.6	4.6		24.0
土佐清水市	8.9	8.6	8.4	8.9	8.7		97.0
中芸	7.7	7.4	6.9	6.8	7.3		62.0
嶺北	13.1	13.0	13.6	12.0	12.6		87.0
仁淀	6.3	6.3	6.6	6.6	7.0		54.0
高吾北	8.4	8.6	8.9	8.9	9.1		76.0
高幡	7.3	10.7	11.3	10.6	10.9		79.0
幡多中央	9.5	6.5	9.0	7.8	7.5		56.0
幡多西部	8.1	8.1	8.3	7.4	7.3		33.0
全県平均	6.9	6.8	7.0	6.6	6.6	6.5	—

救急車による病院への収容所要時間の推移

単位:分

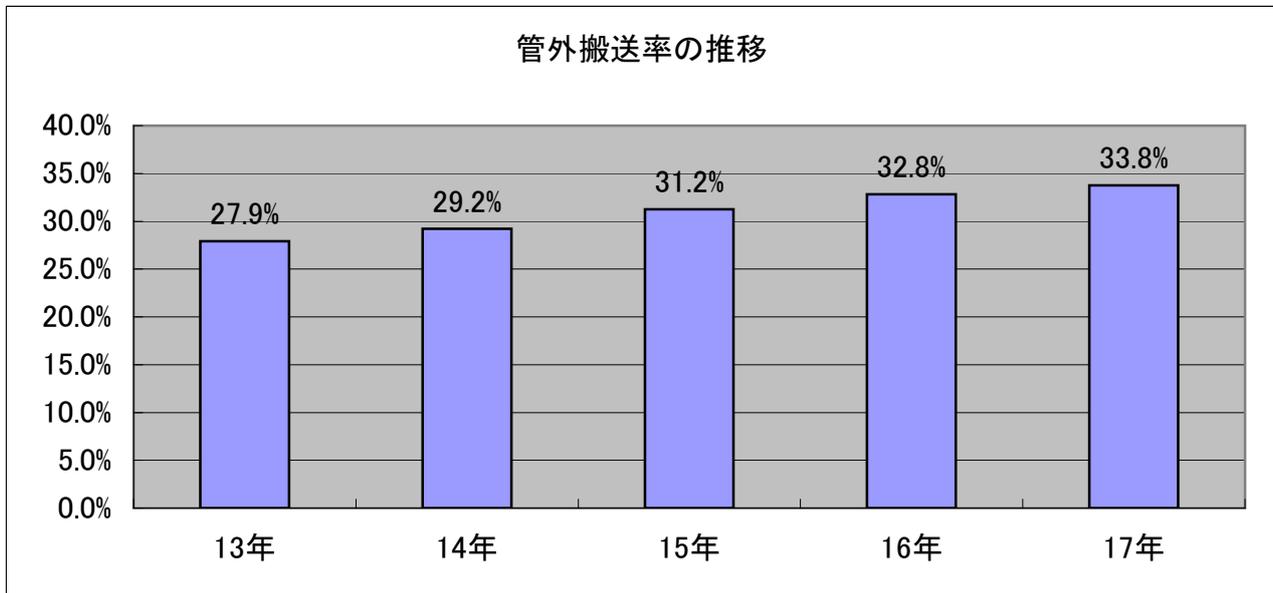
消防本部名	H13	H14	H15	H16	H17	<参考> H18全国平均	<参考> H17最長収容時間
高知市	21.0	21.2	21.8	21.6	22.3		180.0
室戸市	35.2	35.9	35.7	39.3	37.5		148.0
安芸市	22.6	22.4	24.2	24.8	27.8		491.0
香南市	24.4	25.3	27.1	27.6	29.3		149.0
香美市	37.5	39.2	38.5	39.4	39.5		159.0
南国市	26.1	25.9	26.3	26.9	27.2		102.0
土佐市	23.6	22.9	21.9	23.4	24.6		93.0
土佐清水市	39.9	37.1	39.9	42.4	40.4		167.0
中芸	33.3	36.5	34.6	35.2	42.0		148.0
嶺北	49.0	48.2	50.8	49.6	52.2		157.0
仁淀	29.7	31.3	31.3	31.0	32.5		206.0
高吾北	39.7	40.1	42.0	43.2	44.2		162.0
高幡	28.4	40.7	41.8	42.2	44.8		194.0
幡多中央	39.7	26.1	40.6	32.8	33.0		225.0
幡多西部	24.5	28.2	23.4	30.5	30.1		249.0
全県平均	27.5	28.0	29.2	29.3	30.3	31.0	—

○全県平均を見ると、現場到着所要時間は、ほぼ全国平均と同様になっている。
→なかでも山間部を抱える消防本部では、現場到着が10分程度かかっており、収容時間も同様に時間がかかっている。

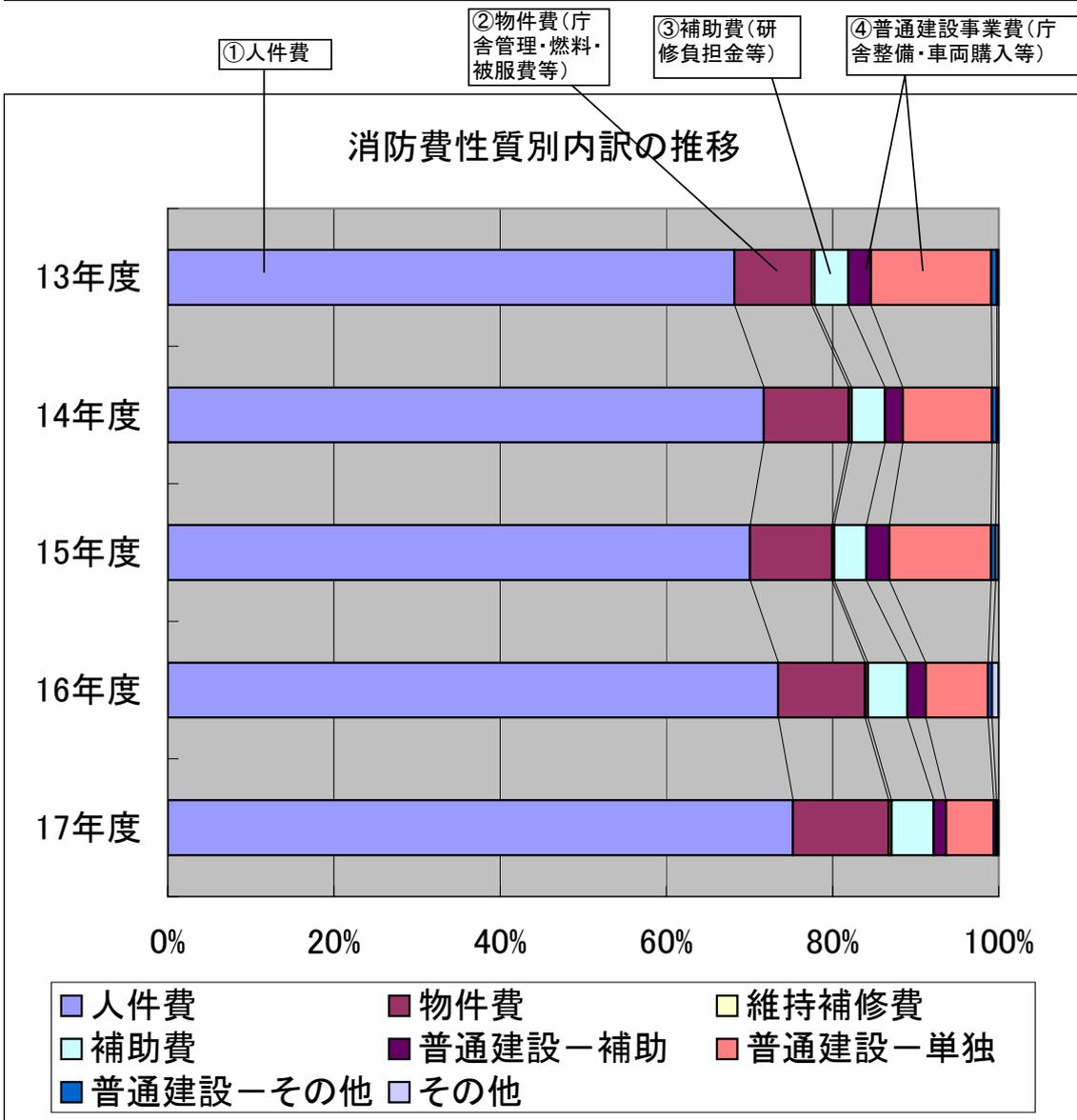
救急搬送の管外搬送率の推移

	13年	14年	15年	16年	17年	H17救急搬送件数	H17管外搬送件数
高知市	2.1%	2.8%	2.8%	2.8%	2.6%	13,253	345
室戸市	58.3%	64.2%	65.5%	66.1%	64.1%	1,058	678
安芸市	13.3%	14.6%	16.6%	17.4%	24.5%	1,304	320
香南市	57.0%	58.7%	63.9%	66.3%	67.8%	1,535	1,041
香美市	90.5%	93.0%	91.8%	94.9%	94.3%	1,590	1,499
南国市	53.0%	59.1%	66.2%	70.5%	71.3%	2,191	1,563
土佐市	30.7%	33.5%	37.7%	49.1%	49.2%	1,365	672
土佐清水市	28.3%	28.8%	38.3%	42.2%	37.9%	729	276
中芸	61.1%	67.2%	68.6%	75.4%	73.5%	612	450
嶺北	48.5%	48.0%	52.3%	54.1%	59.5%	924	550
仁淀	85.5%	85.9%	87.4%	88.0%	88.1%	2,223	1,959
高吾北	36.1%	37.7%	46.1%	50.0%	51.8%	1,324	686
高幡	14.1%	15.7%	17.9%	19.2%	25.1%	2,686	673
幡多中央	29.7%	32.9%	37.5%	37.8%	39.4%	1,966	775
幡多西部	2.3%	3.4%	4.0%	3.8%	3.5%	1,404	49
合計	27.9%	29.2%	31.2%	32.8%	33.8%	34,164	11,536

高知市と幡多西部を除いた計	46.8%	49.1%	52.6%	55.5%	57.1%
---------------	-------	-------	-------	-------	-------



○管外搬送(管轄外への病院への搬送)は、年々上昇しており、全救急出動件数の約3割を占めている。
 →1回の管外搬送では、病院への搬送に1時間、病院での作業に30分、病院から署所への戻りに2時間としても、4時間前後の時間を要している。



○全体の経費は年々減少している。一方、固定経費である①人件費、②物件費及び③補助費の占める割合は年々高くなっているが、庁舎整備や車両購入をするための④普通建設事業費が減少してきている。
 17年度決算額でも、人件費が約7割以上を占め、普通建設事業費はわずか7%となっている。

市町村決算額に占める消防費決算額の割合<17年度>

単位:千円、%
(消防団経費含む)

	決算総額	左のうち消防費		消防費のうち人件費		消防費のうち普通建設事業費		
		決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	
高知市	136,257,092	3,484,586	2.6%	2,732,626	78.4%	159,551	4.6%	
室戸市	11,147,008	466,828	4.2%	403,415	86.4%	15,454	3.3%	
安芸市	12,366,449	331,632	2.7%	276,171	83.3%	18,844	5.7%	
南国市	17,618,902	564,317	3.2%	486,794	86.3%	9,160	1.6%	
土佐市	12,136,260	391,901	3.2%	291,345	74.3%	43,404	11.1%	
土佐清水市	10,179,042	375,985	3.7%	278,266	74.0%	53,279	14.2%	
香南市	17,558,522	449,097	2.6%	325,014	72.4%	26,352	5.9%	
香美市	14,874,171	452,892	3.0%	326,984	72.2%	23,862	5.3%	
中芸	安田町	2,175,231	116,858	5.4%	304,762	70.7%	23,877	5.5%
	田野町	2,135,275	87,941	4.1%				
	奈半利町	2,405,464	132,806	5.5%				
	北川村	2,245,916	48,663	2.2%				
	馬路村	2,363,707	44,992	1.9%				
嶺北	本山町	2,965,214	132,690	4.5%	368,690	77.0%	11,677	2.4%
	大豊町	4,700,714	173,716	3.7%				
	土佐町	3,721,929	138,212	3.7%				
	大川村	1,367,548	34,331	2.5%				
仁淀	春野町	6,253,740	264,746	4.2%	571,378	66.4%	112,072	13.0%
	いの町	14,030,230	482,665	3.4%				
	日高村	3,214,164	113,436	3.5%				
高幡	須崎市	12,702,770	421,562	3.3%	1,113,747	74.8%	113,606	7.6%
	中土佐町	6,953,792	279,019	4.0%				
	梶原町	5,489,856	125,736	2.3%				
	津野町	6,286,956	190,483	3.0%				
	四万十町	15,452,452	471,746	3.1%				
高吾北	佐川町	6,237,195	276,189	4.4%	442,035	59.5%	131,940	17.8%
	越知町	4,074,923	142,486	3.5%				
	仁淀川町	8,423,464	324,425	3.9%				
幡中	四万十市	19,957,193	653,904	3.3%	652,691	67.2%	131,351	13.5%
	黒潮町	7,027,888	316,690	4.5%				
幡西	宿毛市	12,009,571	332,571	2.8%	419,034	76.2%	25,039	4.6%
	大月町	4,227,380	160,861	3.8%				
	三原村	1,725,307	56,141	3.3%				
東洋町	2,178,248	108,343	5.0%	5,753	5.3%	453	0.4%	
芸西村	2,447,410	73,059	3.0%	4,521	6.2%	4,305	5.9%	
合計	394,910,983	12,221,509	3.1%	9,003,226	73.7%	904,226	7.4%	

車両整備費用の目安(過去の実績より)
 ※高規格救急自動車1台=3,000万円程度
 ※消防ポンプ自動車1台=2,500万円程度
 ※はしご車1台=1億2000万円程度

住民一人当たり、吏員一人当たり消防費

	消防費決算額(H17、千円)		管轄人口 (H17国勢調査、人)	住民1人あたり消防費 (円)	消防吏員数 (H18.4.1、人)	吏員一人あたり消防費 (円)	
高知市	3,484,586	3,484,586	333,484	10,449	344	10,129,610	
室戸市(東洋町含む)	489,962	489,962	20,876	23,470	50	9,799,240	
安芸市(芸西村含む)	358,141	358,141	24,556	14,585	35	10,232,600	
香南市	449,097	449,097	33,541	13,389	42	10,692,786	
香美市	452,892	452,892	30,257	14,968	56	8,087,357	
南国市	564,317	564,317	50,758	11,118	60	9,405,283	
土佐市	391,901	391,901	30,011	13,059	44	8,906,841	
土佐清水市	375,985	375,985	17,281	21,757	34	11,058,382	
中芸	安田町	116,858	431,260	12,908	33,410	36	11,979,444
	田野町	87,941					
	奈半利町	132,806					
	北川村	48,663					
	馬路村	44,992					
嶺北	本山町	132,690	478,949	15,036	31,853	41	11,681,683
	大豊町	173,716					
	土佐町	138,212					
	大川村	34,331					
仁淀	春野町	264,746	860,847	48,469	17,761	70	12,297,814
	いの町	482,665					
	日高村	113,436					
高吾北	佐川町	276,189	743,100	28,746	25,851	49	15,165,306
	越知町	142,486					
	仁淀川町	324,425					
高幡	須崎市	421,562	1,488,546	66,373	22,427	123	12,102,000
	中土佐町	279,019					
	梶原町	125,736					
	津野町	190,483					
	四万十町	471,746					
幡中	四万十市	653,904	970,594	51,354	18,900	73	13,295,808
	黒潮町	316,690					
幡西	宿毛市	332,571	549,573	32,642	16,836	52	10,568,712
	大月町	160,861					
	三原村	56,141					
計	12,089,750	12,089,750	796,292	15,183	1,109	10,901,488	

※決算額からは、東洋町及び芸西村の委託料分を除いている。

住民一人当たり、吏員一人当たり消防費(人口規模別)

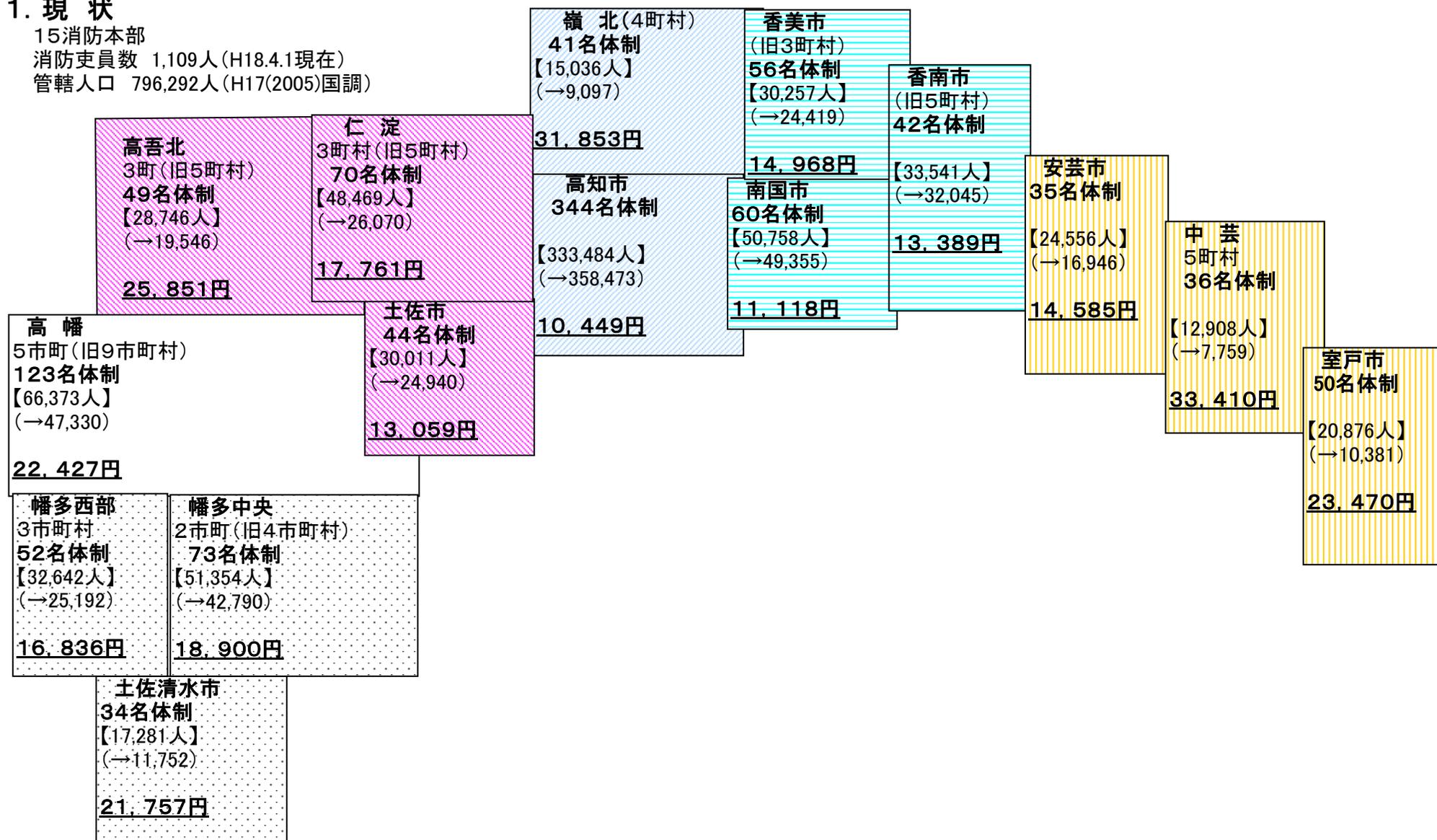
	消防費決算額(H17、千円)	管轄人口 (H17国勢調査、人)	住民1人あたり消防費 (円)	消防吏員数 (H18.4.1、人)	吏員一人あたり消防費 (円)		
<30万人規模>							
高知市	3,484,586	3,484,586	333,484	10,449	344	10,129,610	
<5万人規模>							
高幡	須崎市	421,562	1,488,546	66,373	22,427	123	12,102,000
	中土佐町	279,019					
	梶原町	125,736					
	津野町	190,483					
	四万十町	471,746					
幡中	四万十市	653,904	970,594	51,354	18,900	73	13,295,808
	黒潮町	316,690					
南国市	564,317	564,317	50,758	11,118	60	9,405,283	
仁淀	春野町	264,746	860,847	48,469	17,761	70	12,297,814
	いの町	482,665					
	日高村	113,436					
<3万人規模>							
香南市	449,097	449,097	33,541	13,389	42	10,692,786	
幡西	宿毛市	332,571	549,573	32,642	16,836	52	10,568,712
	大月町	160,861					
	三原村	56,141					
香美市	452,892	452,892	30,257	14,968	56	8,087,357	
土佐市	391,901	391,901	30,011	13,059	44	8,906,841	
高吾北	佐川町	276,189	743,100	28,746	25,851	49	15,165,306
	越知町	142,486					
	仁淀川町	324,425					
<2万5千人規模以下>							
安芸市(芸西村含む)	358,141	358,141	24,556	14,585	35	10,232,600	
室戸市(東洋町含む)	489,962	489,962	20,876	23,470	50	9,799,240	
土佐清水市	375,985	375,985	17,281	21,757	34	11,058,382	
嶺北	本山町	132,690	478,949	15,036	31,853	41	11,681,683
	大豊町	173,716					
	土佐町	138,212					
	大川村	34,331					
中芸	安田町	116,858	431,260	12,908	33,410	36	11,979,444
	田野町	87,941					
	奈半利町	132,806					
	北川村	48,663					
	馬路村	44,992					
県全体	12,089,750	12,089,750	796,292	15,183	1,109	10,901,488	

※決算額からは、東洋町及び芸西村の委託料分を除いている。

本県消防本部の住民一人当たり消防費

1. 現状

15消防本部
 消防吏員数 1,109人(H18.4.1現在)
 管轄人口 796,292人(H17(2005)国調)



現状の整理

1 消防体制における専任職員の不足

- ・「消防力の整備指針」に基づく消防職員の充足率
- ・兼務状況
- ・非番召集

2 消防需要の増加

- ・出動状況件数の増加
- ・火災・救助出動件数
- ・救急出動件数の増加
- ・管外搬送率の増加

3 財政状況の低下

- ・市町村消防費の低下
- ・人件費・物件費・補助費の割合の増加
- ・庁舎整備・車両購入へのしわ寄せ

4 その他

--